

令和2年度（2020年度）事業計画書

自 令和2年（2020年）4月1日

至 令和3年（2021年）3月31日

PMF 2020 概要

1. 開催期間 2020年7月10日（金）～8月3日（月） 25日間

2. 開催地 札幌市、函館市、苫小牧市、江別市、奈井江町

3. 公演数 約40公演

4. 参加アーティスト

芸術監督 ワレリー・ゲルギエフ

首席指揮者 マレク・ヤノフスキ

客演指揮者 アレクサンドル・ヴェデルニコフ

指揮者 ダヴィッド・ルンツ

クリスチャン・ナップ

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」出演アーティスト

エフゲニー・ニキーチン（バリトン）

ミハイル・ペトレンコ（バス）

アルビーナ・シャギムラートワ（ソプラノ）

エレーナ・ステイツヒナ（ソプラノ）

セルゲイ・スコロホードフ（テノール）

ユーリー・ヴォロビョーフ（バス）

アイグリ・ヒスマトゥーリナ（ソプラノ）

ドミトリー・グリゴリエフ（バス）

マリインスキー劇場合唱団

PMFオーケストラ共演ソリスト

モア・ビロン（ファゴット）〈プログラムA〉

藤田 真央（ピアノ）〈GALAコンサート〉

ゲストアーティスト 九嶋 香奈枝（司会／ソプラノ）〈リンクアップ・コンサート〉

穴澤 彩佳（ソプラノ）〈リンクアップ・コンサート〉

岡元 敦司（バリトン）〈リンクアップ・コンサート〉

オーケストラ

PMF オーケストラ

札幌交響楽団 (PMFホストシティ・オーケストラ)

教授陣 (*はPMF初参加を表す)

◆PMFヨーロッパ (会期前半)

ヴァイオリン	ライナー・キュッヒル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	ハインツ・コル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	シュテファン・ガルトマイヤー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒャエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	アンドレアス・ブラウ (前ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	マンフレート・プライス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	モア・ビロン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	イエスパー・ブスク・ソレンセン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
パーカッション	フランツ・シンドルベック (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

◆PMFアメリカ (会期後半)

ヴァイオリン	ステイーヴン・ローズ (クリーヴランド管弦楽団)
ヴァイオリン	アナ・ランダウアー* (ロサンゼルス・オペラ管弦楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	ラファエル・フィゲロア (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	デニス・ブリアコフ (ロサンゼルス・フィルハーモニック)
オーボエ	ユージン・イゾトフ (サンフランシスコ交響楽団)
クラリネット	ステイーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
ファゴット	ダニエル・マツカワ (フィラデルフィア管弦楽団)
ホルン	ウィリアム・カバレロ (ピッツバーグ交響楽団)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	デンソン・ポール・ポラード (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ティンパニ	デイヴィッド・ハーバート (シカゴ交響楽団)

◆PMFピアニスト 佐久間 晃子

PMF 2020 アカデミー教育

1. オーディション

インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施し、合計で68カ国・地域から1,212名の応募があった。

2. アカデミー教育

オーケストラ・アカデミー（72名）

PMF創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施する。芸術監督ワレリー・ゲルギエフや首席指揮者マレク・ヤノフスキらが指揮するほか、PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、2020年は主に3つのオーケストラプログラム(A、B、C)の教育を行う。コンサートツアーを含め8回のオーケストラ演奏会のほか、ロシア・マリインスキー劇場の演出による本格オペラ公演、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を発表する。

なお、ヴォーカル・アカデミー、コンダクティング・アカデミーはプログラム構成の都合上、休止する。

3. アジア・フェローシップ・プログラム（4名）

アカデミー参加者の増加が期待される東南アジア圏でクラシック音楽を学ぶ若手音楽家に、PMFでの経験や教育の機会を提供するプログラム。音楽大学から推薦を受けた若手音楽家が、PMFオーケストラリハーサルの見学や演奏会の聴講のほか、PMF教授陣によるコーチングなどを受ける。

PMF 2020 演奏会

○2020年はワレリー・ゲルギエフ6年間のPMF芸術監督最終年の集大成として、以下の事業に取り組む。

- ・ロシア・マリインスキー劇場の演出、芸術監督ゲルギエフの指揮の下、PMFオーケストラの演奏で、モーツァルト不朽の名作・歌劇「ドン・ジョヴァンニ」を札幌文化芸術劇場 hitaru にて実施する。フルプロダクションでのオペラはPMF史上初であり、マリインスキー劇場によるオペラ公演は札幌初上演となる。
- ・2019年のチャイコフスキー国際コンクールのピアノ部門で20歳にして第2位を受賞した藤田 真央をソリストとして招き、芸術監督ゲルギエフ指揮の下、ベートーヴ

エン：ピアノ協奏曲第4番、交響曲第4番（いずれもPMF初演奏）などを演奏する公演を、札幌コンサートホール Kitara、苫小牧市にて開催する。

- ・ベートーヴェン生誕 250 年にちなみ、オープニング・コンサートやプログラムCのほか、室内楽の楽曲でベートーヴェンが作曲した作品を取り上げる。

○上記を含めたPMF2020の主なコンサートスケジュールは次のとおり。

- ・7月10日（金） PMF2020 オープニング・コンサート（札幌コンサートホール Kitara）
バーンスタイン：「キャンディード」序曲
ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92 ほか
- ・7月11日（土） PMFベルリン演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月12日（日） PMFウィーン演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月14日（火） PMFリンクアップ・コンサート（札幌コンサートホール Kitara）
PMFベルリン演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月17日（金） PMFウィーン演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月18日（土） ピクニックコンサート<プログラムAほか>（札幌芸術の森・野外ステージ）
- ・7月19日（日） PMFオーケストラ演奏会<プログラムA>（札幌コンサートホール Kitara）
ラフマニノフ：交響曲 第2番 ホ短調 作品27 ほか
- ・7月21日（火） PMFアンサンブル江別公演（えぼあホール）
- ・7月22日（水） PMFアンサンブル奈井江公演（奈井江町文化ホール）
- ・7月23日（木） PMFホストシティ・オーケストラ演奏会（札幌コンサートホール Kitara）
チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 作品64 ほか
- ・7月24日（金） PMFオーケストラ函館公演<プログラムB>（函館市民会館）
- ・7月25日（土） PMFオーケストラ演奏会<プログラムB>（札幌コンサートホール Kitara）
R. シュトラウス：交響詩「死と変容」 作品24
ブラームス：交響曲 第2番 ニ長調 作品73 ほか
PMFアンサンブル演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月26日（日） PMFアメリカ演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月31日（金） 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」（札幌文化芸術劇場 hitaru）
モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」
- ・8月1日（土） PMF GALAコンサート<プログラムC>（札幌コンサートホール Kitara）
モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K. 527
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番
ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ（管弦楽版）
ベートーヴェン：交響曲 第4番 変ロ長調 作品60
- ・8月2日（日） 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」（札幌文化芸術劇場 hitaru）
- ・8月3日（月） PMFオーケストラ苫小牧公演<プログラムC>（苫小牧市民会館）

音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

2020年度は、青少年教育プログラムとして、リンクアップ・コンサートや中学・高校のオーケストラ部や吹奏楽部を対象とした訪問リハーサル、地元大学の音楽専攻生を対象としたPMF公開マスタークラスのほか、ユース・ウイング席を実施するなど、若い世代へのクラシック音楽の普及、未来を担う人材の育成のための取り組みを充実させる。

1. PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF2013において日本で初めて実施した、小学生向けの音楽教育プログラム。子どもたちが歌やリコーダー演奏でPMFオーケストラと共演する機会を設け、これまでにない一流の音楽との出会いの場を提供する。札幌市内の小学校6年生児童約600名が参加予定。

2. オープンリハーサル

札幌コンサートホール Kitara 等で行われるPMFオーケストラのゲネプロ（本番前の全体練習）やリハーサルの指導風景を、音楽関係者及び小学生から25歳（1995年生まれ）までの若い世代等を対象に無料で公開する。定員は1回につき200名。

3. PMFオペラセミナー（仮称）

音楽関係者を講師に迎え、歌劇「ドン・ジョヴァンニ」公演の見どころ、楽しみ方を紹介するイベントを開催する。

4. オーケストラ・吹奏楽訪問リハーサル

PMF教授陣が札幌市内及び近郊の中学校・高等学校のオーケストラ部及び吹奏楽部を訪問し、最高レベルの教育を提供する。

5. PMF公開マスタークラス

アカデミー生を指導するPMF教授陣が、北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その様子を一般に公開する。ヴァイオリン、木管楽器、金管楽器等、計3日6講座を予定。

6. ユース・ウイング席・U25割引の設定

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（1995年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホール Kitara で開催するオーケストラ3公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する。

また、U25 割引（ピクニックコンサートは芝生自由席無料）を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

7. 修了生によるミニ・コンサート

会期外においてクラシック音楽の普及やPMF事業の認知度を高めるため、メインスポンサー等の協力を得て多くの集客を望めるショッピングモールなどでミニ・コンサートを開催する。

また、札幌市の主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」に参加し、小学校において、修了生によるミニ・コンサートを開催する。

（2019年度の修了生によるミニ・コンサート開催実績は42公演）